

保護者等向け 放課後等デイサービス評価表

公表日: 2026年4月1日

事業所名: 放課後等デイサービス 放課後等デイサービスORANGE

対象人数(保護者)13人 回答者数 9人 回収 69.2%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	2			もう少し活動スペースにゆとりがあればいいなと思います。	・体を動かしたり伸び伸びと過ごせるプレイルームと個別で課題に取り組むためのスペースを分けて確保し、活動内容や利用児童の状況に応じて使い分けを行っています。 引き続き安全面や活動のしやすさに配慮しながら、より快適に過ごせる環境づくりに努めていきます。
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	6	1		2		・国の基準を満たした職員配置を行い、利用児童の状況や活動内容に応じて適切な人員配置に努めています。 又、わからないとのご意見もあるため、職員配置の状況や支援体制について、保護者へわかりやすく情報発信を行い、安心してご利用いただけるよう努めています。
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8			1		・事業所内では段差が少なく、バリアフリー化がなされており、安全に過ごせる環境を確保しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	1			清潔だとは思いますが、冬場など定期的に空気の入替えなどされているのかは気になります。	・今後も児童が安心して過ごせる環境を整えていき、環境の維持・工夫に注力し、子供たちがのびのびと活動できる空間を継続的に提供していきます。 また、空気の入替えについては換気扇や吸排気システムを活用し常時換気を行うなど、空気が清潔に保てるよう努めています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な支援の提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	1				・児童一人ひとりの特性や発達状況はアセスメントを通じて把握し、その結果に基づき専門的な支援を提供しています。支援計画や日々の関わりにおいても、個々の特性に応じた対応を行い、安心して活動できる環境づくりに努めています。
	⑥	事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	9					・事業所が公表している支援プログラムは、日々の支援内容と基本的に整合しており、職員間でもプログラムに沿った支援が行えるよう共有しています。
	⑦	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	9					・児童一人ひとりの特性や発達状況に加え、保護者のニーズや課題も客観的に把握・分析した上で、個別支援計画を作成しています。作成された計画は支援会議や職員間での情報共有を通じて実施内容の統一を図り、子どもが安心して活動できる環境づくりに活かしています。
	⑧	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7			2		・個別支援計画は、放課後デイサービスガイドラインに示されている「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」観点を踏まえ、子供に必要な支援項目を設定した上で、具体的な支援内容を定めています。
	⑨	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9					
	⑩	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	1				・職員間で情報共有や支援会議を行い、支援内容が固定化されないよう調整し、児童がのびのびと活動できる環境づくりに活かしています。
	⑪	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	2	3		・地域交流については定期的に地域の公園や施設への外出活動を行い、子どもたちが他の子どもや地域の方々と関わる機会を提供しています。また、老人ホームとの交流や地域の各種イベントの参加など、今後も地域交流の機会をさらに広げる事を検討しており、より多様な活動を通して利用児童の社会性や交流力を育むことを目指しています。活動内容や意図が分かりやすく伝わるよう保護者への情報配信に努めていきます。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9					
	⑬ 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9					
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	2	3	1		・現在、家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族参加型研修会などの機会は実施していませんが、ご要望があれば検討・実施していきます。
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	6	3				連絡帳や送迎時のやりとりなどを通じて情報共有を行い、健康や発達の状況について共通理解が出来るよう努めています。
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	2				・定期的に面談や子育てに関する助言・相談などを行っています。 また、モニタリングや送迎の際にも保護者と状況を確認しながら対応し、児童の発達や家庭での生活に関する情報提供や助言に活かしています。
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援がされていると思いますか。	6	1		2		・児童が安心して活動できるよう声かけや関わりを工夫し、児童の気持ちや状況に寄り添い共感的な対応を心がけています。
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	1	1	5		・現在実施していないため、今後保護者会の開催も含め、実施できるよう前向きに検討・実施していきます。
	⑲ こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	1				・児童や保護者からの相談や申し入れについて、対応体制を設備しています。 お客様の発達など保護者さまのお悩みごとはいつでもご相談下さい。
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	1		1		・LINEや電話を活用しています。
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8			1		・Instagramとリタリコ発達ナビブログで日々の活動を配信しており、行事予定も1か月前から配布しています。今後さらに情報配信が出来るよう施設便りなども活用することを検討しています。
㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9					・個人情報の取り扱いについては、個人情報保護法に基づき十分に留意しており、すべて鍵付きの書庫で安全に保管しています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の 対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6			3		・事業所では、各種マニュアルを策定しています。 BCPの安全計画に基づき研修や発生を想定した訓練も実施し、職員の対応向上に努めています。 保護者への周知については、お便りなどを活用し研修報告などを行っていくことを検討しています。
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6			3		・年に2回避難訓練を実施しています。 現状、保護者への周知や実施状況の把握が十分でない部分がある為、今後周知出来るよう改善に努めていきます。
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	7	1		1		・事業所では、児童の安全を確保するための計画に基づき、支援が行われています。 保護者に対しては今後計画内容や安全確保の方法をより分かりやすく周知出来るよう改善に努めていきます。
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	6	1		2		・事故など(怪我等も含む)が発生した際には、速やかに保護者へ連絡するとともに、状況について説明しています。 現状、大きな事故は発生していませんが、怪我等の際には適切に対応しています。
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	9					・今後も安心して通っていただけるように努めていきます。
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	7	2			本人のその時の気分により変わる。	・今後も楽しみに思えるような活動内容を準備していきます。
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	7	2				・児童が楽しみながら、成長できる環境を継続して行っていくと共に、保護者さまが安心して通わせることのできる施設を目指していきます。

※1「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。

※2「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るため、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。

※3「放課後等デイサービス計画(個別支援計画)」は、放課後等デイサービスを利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。

※4「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。こどもの発達の状況や障害の特性等に応じて柔軟に組み合わせることで実施されることが想定されています。

※5「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目標とします。